

- 1 座板・背板の交換
- 2 児童椅子の廃棄

## 1. 児童椅子 座板・背板 交換方法



児童の椅子や机は毎日使用する為、経年劣化と共にささくれや割れ等の破損が生じていきます。破損した状態で児童が使用すれば、衣服の破損や怪我などがおきます。できる限り児童が快適に学校生活を送れるような環境を整えるように、心がけましょう。

- 1 破損等を確認したら、専用の道具を使用してピンを抜き取ります。  
専用の道具は、草刈り工具に軍手を巻きガムテープで貼ったものです。（自作）  
CRC をピンに吹きかけておくと、ピンの芯が動き安くなります。



2 破損した座板を取り外して、ピンをニッパーで取ります。



3 座板交換の道具を用意します。（座板・背板・電動ドリル・ドリル5ミリ・ピン・ハンマー・その他）



4 新しい座板をフレームに乗せます。新しい座板に古い座板を重ね合わせて、取り付け位置を決めます。



5 重ねた古い穴からドリルを通して、新しい座板にマーキングをします。



6 マーキングした箇所を電動ドリルで穴を開けていきます。 4つ目の穴がずれやすいです。  
精華小学校では、開けた穴にロングの釘を入れて、ずれないように固定して穴を開けていきます。



7 穴を開けたらピンを差し込みます。 その時、ピンと板に隙間があると、児童の衣服・髪の毛が挟まってしまうので、ドリル刃の背を使い穴を広げます。



8 広げた穴のバリを取り、ピンが座板にピッタリ刺さるようにします。 **ポイントです**



9 ピンを打ち込んだら、座板の取り付け完了です。



10 背板の取り付け準備です。

背板の穴から少し離れた所に、定規で直線上の位置にマーキングをします。 **( 縦 横 十字 )**



11 ドリルで穴を開けていきます。



12 座板の取り付けと同様に、ピンがまっすぐ入るようにドリル刃の背で穴を広げます。  
穴は、少しくらい大きくなってもピンの傘の部分で隠せるので大丈夫です。 **ポイントです**

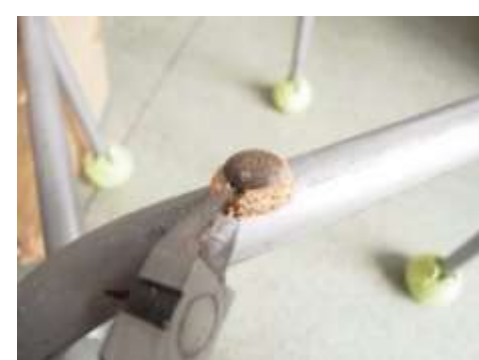


13 完成



## 2. 児童椅子 廃棄の場合の楽な処理方法

ホールソー（20～22ミリ）を使用する。





廃棄 大畑処理センターへ ビスは着けたまま処分

